

おひさま

発行：社会福祉法人えどがわ

東京都江戸川区松島 1-40-18

発行責任者：田澤 茂

2011 年 12 月 25 日

第 2 号



繰り返しの生活



社会福祉法人えどがわ

理事長 田澤 茂

(東一の江幼稚園園長)

「大好きだよ〇〇ちゃん」と〇〇の中に
お子様の名前を入れて呼んであげていま
すか。我が子が嫌いな親はいないと思いま
す。でも、朝から「早く起きなさい」「早
く着替えなさい」「早くご飯を食べなさい」
「早くしないと保育園に遅れてしまいま
すよ」忙しい時はどこのご家庭でも子ども
を急かしたり、小言を言いがちです。朝か
ら我が子を褒める余裕はないかもしれま
せん。しかし、仕事が終わって保育園に迎
えに行く時には笑顔で「大好きだよ〇〇ち
ゃん」とひと声かけるだけで、子どもは親
に愛されているという実感が湧くことで
しょう。小さい子どもは言葉で表現できま
せんが、何か親子の間に通い合うものがあ
ります。忙しすぎるとつい命令口調や叱責
口調になったりします。毎日がこれだけの
言葉で終わっていたら親子共々寂しすぎ
ると思います。子どもも親に愛されている
という実感があれば、頑張る力が湧き、親
が困っている時はお手伝いしてあげよう
という気持ちも湧いてきます。



2 歳、3 歳になると駄々を捏ねたり、
我儘を言ったり、大泣きしたり、うまく
できないのに自分でやろうと失敗をし
たりと親を困らせることがたくさんあ
ります。この時期を反抗期と言いますが、
自立期と呼ぶ人もいます。見方を変える
だけで子どもを見る目が変わってきま
せんか。反抗してばかりと思うと、「今
駄々を捏ねているのは自分の思うとお
りにならないから、本当は一人でやろう
として上手いかずに困っているんだ」
と思うと、我が子が頑張ろうとしている
姿を応援したい気持ちになってきます。
でも、毎日繰り返されると親もイライラ
します。この時に叩いて泣き止ませるの
は寂しいものがあります。子ども自身、
一生懸命やっているのに認めてくれな
い、褒めてくれない親から叱られるのと、
きちんと我が子に向かい合って子ども
の頑張りを認めてあげられる親から叱
られるのとは、子ども自身の感じ方、受
け止め方が違うと思います。これからも
毎日の生活の繰り返しの中で、お子様へ
の見守り方を変えてみませんか。

平成 23 年度 社会福祉法人えどがわ 懇談会



平成 23 年 6 月 24 日、タワーホール船堀にて懇談会を開催いたしました。法人役員並びに江戸川区子ども家庭部の皆様、職員、総勢 260 名の出席となり、来賓の皆様のご挨拶や平成 22 年度をもって副理事長を退任し、理事に就任されました杉 栄一先生、同じく理事を退任し、評議員に就任されました長島 孝夫先生よりご挨拶を頂戴し、感謝の意を含め、花束を贈呈させていただきました。また、会の終盤では、西篠崎おひさま保育園職員による余興などを盛り込みながら懇談を深め、楽しい時間を過ごしました。

東小松川おひさま保育園 廣野 昭子保育士による職員代表挨拶(一部抜粋)

2 園でスタートしたおひさま保育園も、観も大きく広がりました。さまざまな経今年で 12 園となりました。私立保育園 験を通し、今感じることは、更に分野をと私立幼稚園が一体となり設立された法 広げた勉強していかなければならないと人である、という新たな取り組みが様々 ということです。皆様のお力添えをいただき、また、おひさま保育園だけではなく、に責任の重さと共にあらゆる可能性を感じ 私立保育園や私立幼稚園、江戸川区との じることができました。 連携を図ることで、私たちの豊かな保育

先輩方の保育を学び、各家庭の育児に 観に繋げ、子どもたちの可能性も更に広 対する思いに触れる中、信頼関係を築く げられたらと思います。

難しさ喜びは何年経っても記憶から薄 初心と向上心を忘れずにまた、柔軟性 れることはありません。また、異動の経 とプロとしての意識を持ち、職員一同励 験を通し、公立の先生方や新たな仲間の んで参りますので、これからもご指導の 感性に触れることができ、私自身の保育 程、よろしくお願いいたします。

おひさまTOPICS

葛西おひさま保育園



“ウォーターパーク！”

プール納めに行う水の遊園地、「ウォーターパーク！」ブルーシートで作るジャブジャブ池に泡プール、シャワープールに色水遊び、そしてかき氷。大きな行事と並ぶくらい、皆が楽しみにしている行事です。水が苦手だった子どももダイナミックに遊べるようになり、歓声を上げながら夏の終わりを満喫しました。降園時には、写真を見ながら子どもを含めて、保護者・職員の会話に花が咲き、楽しさも倍に膨らみ笑い声で 1 日が終わります。

新堀おひさま保育園

“ほのぼの交流会”

園児のおじいちゃん、おばあちゃんに来ていただき、竹とんぼや綾取りなどしました。竹とんぼを上手に飛ばすおじいちゃんに子ども達は拍手、綾取りを教えて貰い、おばあちゃんの側を離れず練習している姿がとても微笑ましかったです。「いつも一緒に居るわけではないので、保育園での姿を見られて嬉しかった」また、「今年で卒園なので、最後に一緒に遊ぶことが出来て、いい思い出になりました」との声が聞かれました。お土産に 5 歳児が制作した写真立てに子どもと一緒に撮影した写真を入れ、お渡ししたことも好評でした。これからも子ども中心に楽しい行事を作り上げていきたいと思っています。



西篠崎おひさま保育園

“おひさまレストラン”



給食を保護者の皆様に食べていただく「おひさまレストラン」を 5 時 30 分から 7 時まで行っています。給食ってどんな味、と心配していた保護者の方も美味しい味に大満足！家族で野菜の話や隣席同士育児の話に盛り上がり、時間を忘れ、話し込んでいる姿が見られ、食事の時間を楽しんでいました。

おひさまTOPICS

鹿骨おひさま保育園 “運動会”

鹿骨中学校で第 4 回目の運動会を行いました。保護者・地域の方も含め約 580 名の方に参加していただき、オープニングではリズムを取り入れ、ちょうちょうなどスキップで入場。子どもたちのお気に入りの曲で踊り、パラバルーンを帽子やメリーゴーランドに見立て表現し、体育的な平均台・マット・鉄棒にもチャレンジし、年長児は組立体操を行い、ピラミッドなどを成功させ、大歓声でした。保護者と職員の混合リレーも大接戦で子供たちの声援の中、大変盛り上がり、秋のひと時を過ごしました。



葛西第二おひさま保育園 “ピーマンマンがやって来た！”



保育園にピーマンマンがやって来ました！ホールに集まり、栄養士さんから「あかべえ・きさく・みどすけ」のパネルを使いながら健康な身体を作る大事な食べ物の話を聞きました。途中、「ピーマンマン」が登場し、一緒に食べ物クイズを楽しみ仲良しになりました。とてもわかりやすく子どもたちも真剣に聞いていました。その日の給食メニューの「ツナとピーマンの炒め物」はピーマンが苦手な子どもも「おいしいね」と食べていました。

東小松川おひさま保育園 “ほのぼの交流会”

敬老の日前後に祖父母の方をお招きして保育園で楽しい一時を過ごしていただいています。2 階遊戯室で各クラスが歌やダンスを披露します。可愛らしい発表におじいちゃんおばあちゃんは一層目を細め、楽しんでいます。5 歳児クラスはかるた、綾取り、折紙などの遊びを一緒に楽しみ、交流の場を持っています。また、遠方にいらっしゃる祖父母の方へは字が上手になった子ども達からお手紙を書いて出しています。一緒にお給食をいただき、心の通う一時に毎年この交流会を楽しみにいただいている祖父母も多く、東小松川おひさま保育園では恒例となっています。



おひさまTOPICS

春江おひさま保育園

“ちーちゃんと桜”



春には、満開の花を咲かせ、子どもたちを見守っていた桜の木が、この夏倒木の危険から子どもたちを守るため、切り倒されました。その頃、長い間、乳児室にしまわれていた「ちーちゃん人形」がでてきました。子ども達は「ちーちゃんと遊んでいい?」とやってきます。ちーちゃんのポケットには、お手紙が入っていることもあります。桜の木がなくなり、人形が出てくるなんて不思議なめぐり合わせだと思いました。



東小岩おひさま保育園

“運動会ごっこ”

運動会ごっこを行いました。「カッコイイ!」「できるかな?」「やってみたい」と他クラスの演目に興味を持ち、自分で選び参加。誘われてではなく自分の意思で取り組むことで楽しさは倍増です。異年齢児に教えてもらい、一緒にすることで自信のなかった技も「出来る!」を体感しました。「1歳だから難しい」「5才だから物足りない」は大人の勝手な判断です。子どもたちの逞しい成長から改めて教えてもらった気がしました。



松本おひさま保育園

“わくわくデー”



保護者の方や近隣の方に協力していただき、月に1回「わくわくデー」と称して行事を行っています。5月はわらべ歌、6月はパネルシアター、7月はアフリカのダンスと歌、8月はピアノとパネルシアターを披露していただきました。子どもたちは、一緒に歌ったり踊ったりと楽しい時間を過ごしています。「わくわくデー」を通して

保護者や近隣の方との交流や異国文化に触れることにより、子どもたちに興味や関心を持って楽しい事を肌で感じてもらいたいと思います。

おひさまTOPICS

北葛西おひさま保育園 “運動会”

第三葛西小学校の校庭において運動会を行いました。子どもたちは、広いトラックを自分の力を出しきりながら一生懸命走り、その姿は、応援している側も思わず手に汗を握ってしまうほどでした。体育発表では、身体機能や向上心を高めることを目的とし取り組んでいる体育教室において、練習を重ねてきた成果を披露することができ、大きな拍手と声援を受けることで、子どもたちは達成感と大きな自信を持つことができたと思います。



松江おひさま保育園

“小さな自然や本物に触れるとき”



ゴーヤ・ミニトマト・キュウリ・ピーマン・なす・季節おくれのサツマイモ・そして人参など、春に小さなプランターに野菜作りを行います。毎日、育ちを見ながら収穫します。家では食べなくても「このピーマンおいしいね！」と保育園ではパクパク。みんなと食べるってほんとに美味しい！また、食育計画もあります。お寿司パーティー・うどん打ち・魚解体ショーなど、子どもたちは職人さんの説明にくぎ付け。プロにはかなわないと子どもの目の輝きが語っています。日常の皮むきも楽しいひと時です。

西小岩おひさま保育園 “6人のボランティア”

縄跳びに興味を持ってもらいたいという想いから大学生のグループを依頼、6人の大学生ボランティアによる披露、体験しました。子ども達は、大きな縄が回りその中でいろいろな飛び方をしている様を見て、目をキラキラ輝かせ大歓声、子どもたちから「やりたい」という声が出て体験し、全員が同じように飛べたことを喜んでいました。何よりも飛べた後に自信が漲るような笑みがこぼれていた様子で、終わった後にも「縄跳びをやりたい！」といった声がたくさん聞こえてきました。



平成 24 年度民営化園 園長予定者紹介



仮称:清新おひさま保育園
高柳 利枝子

来年度民営化いたします清新第四保育園の引継ぎ保育に 7 月から携わらせていただいております。私は 30 年間保育現場に従事する中で、保育士は天職だと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

「元気でのびのび遊ぶ子」「よく見、よく聞き、よく考える子」「友達を大切に思いやりのある子」清新第四保育園はこの保育目標をもとに 119 名全園児を全職員で見守ろうと、異年齢集

団の交流が意識的になされ、大人も子どももとても仲が良いのが印象的です。園長先生と江戸川区の子どもたちの為に公立も私立も共同してより良い保育を考えるチャンスにしたいと共感し合えた事は、大きな喜びです。

公立保育園の保育士の皆様、関係者の皆様、地域の皆様、法人関係者の皆様方のご協力、ご支援のもと、子ども達と保護者の皆様が、安心して来年 4 月を迎えられるよう全力を尽くして参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



仮称:小松川おひさま保育園
彦田 智佳子

24 年度民営化に伴い、区立小松川第一保育園の職員の皆様と共に保育引継ぎ計画書に基づき、4 月の移行に向け現在、引継ぎを進めております。

ここ、小松川は都営新宿線東大島駅から旧中川沿いを歩いて来ますと、周りにはケヤキ並木、目の前には都立大島小松川公園（風の広場・季節の広場）という自然溢れる素晴らしい環境の中に保育園があります。

“保育園は第二のお家！” 一人ひとりの個性を大切に、公立の先生方の思い

が伝わる温かい保育の中で子ども達は育まれています。

開園以来、長い歴史の中で大切されて来ました事を、おひさま保育園になりましても受け継いで参りたいと思います。子ども達を見守る職員・保護者の皆様の温かい眼差し、この思いを大切に、来春“小松川千本桜”が咲く頃、良いスタートが迎えられる様に保護者の皆様の信頼とご理解を得ながら、小松川第一保育園の職員の皆様、関係する皆様と共に手を携えながら丁寧に準備を進めて参りたいと思います。今後とも、宜しくお願い申し上げます。



リレー随筆

私は、健康で今まで勤めていられる事を大変嬉しく、幸せに思います。

名古屋の学校を卒業後、幼稚園・保育園で 37 年間勤め、改めて自分ながら良く続いたものだと思っています。続けていけないことは、自分の力だけではできない事です。これは、私の場合は周りの人たちが支えて下さった事が一番大きな要因だと思います。

初めて就職した時も、先輩達が腐らず就職したての私を良く指導して下さいました。この時の園長先生はいつもニコニコ見ていて下さいました。今思うと毎日ハラハラ、ドキドキと心配していた事です。初めて園長になった時もベテラン保育士が未熟な私をしっかりサポートして下さいました。又、家族に支えられて仕事が続けられたこともその一つと言えると思います。行く先々で職場の人間

関係に恵まれ、いつも助けていただきました。そして江戸川区では先輩園長や歴代の理事長、副理事長たちのご指導もあり、見習うことで自分も成長できたと思い、日々感謝しております。

今、保育は変わろうとしています。昔は毎日子どもたちと野山を駆け巡り、泥んこになり、色水遊び等に興じたり、春には筍堀をし、広場でごはん汁にと、子どもたちと舌づつみを打ったりしたものでした。しかし、保育の根底に流れる「今、子ども達に出来る事は何か」は変わらないものです。これからも皆で手を握り合い、考え、江戸川区の子どもたちの為に歩んで行けたら嬉しいです。

おひさま保育園は異動があります。一人ひとりの職員さんが何とか一人前になりたいと頑張っている姿が見られたら自分の勉強でもあると思い指導し、一緒に保育園を作って行きましょう。

西篠崎おひさま保育園
園長 久保田 麻美子



給食室の人気メニュー タンドリーチキン

《材料》家族 4 人分

- 鶏モモ肉・大人一人 100g
- ・子供一人 50g
- ・カレー粉…小さじ 1/3
- ・ヨーグルト…60g
- ・ケチャップ…大さじ 1
- ・醤油…小さじ 1
- ・おろしにんにく…少々
- ・おろし生姜…少々

A

《作り方》

- ① A の調味料をボールまたはビニール袋に入れて、混ぜ合わせる。
- ② ①の中に鶏肉を入れてもみこむ。
- ③ ②を冷蔵庫の中で 30 分～1 時間置いて味を染み込ませる。(1 日置いておくと、味がより染み込んで美味しくなります。)
- ④ ③をフライパンで火が通るまで良く焼いて完成。
(余分な油を落としたい方は魚焼きグリルがお勧め。)

提供：シダックスフードサービス株式会社

編集後記

1 年が経つのは早いもので今年度も残り 3 か月となりました。来年度「おひさま保育園」は 14 園となり、更なる充実した保育が期待をされていると感じています。今後とも皆様のご協力ほどよろしくお願いいたします。

編集委員

